

	答申意見案	対応状況
1	<p>○「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」は素晴らしいキャッチコピーだが、その「豊かさ」の定義をどうするのか、はっきりとすべきである。</p> <p>○総合計画の政策により、県民目線でどのような暮らし方が実現できるのかの物語化が必要である。</p> <p>○成長よりは持続可能性をどうやって模索するかということが世界的に今討論されており、SDGsの考え方との関係を示すべきである。</p> <p>○AIや車の自動運転、物流などは、経営資源を県の財源だけに頼るのではなく、特区などにより規制を緩和することで、山梨県を企業の社会実験の場としていくべきである。</p> <p>○総合計画の実践について、様々なメディアを活用して、戦略的に県内外に伝えていくことが重要である。</p> <p>○進捗のプロセス管理について、数値目標などは、指標化や県民がそれを楽しんで進めるようなゲーム化の仕組みが必要である。</p> <p>○少人数教育、地域資源を活用した教育、産業人材としての教育の三つぐらいが教育についての大きなカテゴリーと思われる。</p> <p>○県だけでなく、NPOや企業など、横の繋がりの中で、将来の人材育成について考えていくことが必要である。</p>	<p>○基本理念で「豊かさの実感」に向けてという項目で考え方を整理。</p> <p>○将来の姿において具体的な生活シーン等について記載。</p> <p>○総合計画のSDGsの関係を記載するとともに、計画の推進において政策の位置づけについても整理。</p> <p>○戦略5政策1の施策「地域公共交通等の確保」実施の参考意見として活用。</p> <p>○行財政改革の取組1に施策「戦略的広報実施に向けた体制の確立・推進」を記載</p> <p>○計画の推進に「計画の進捗状況の評価」を記載し、各施策について成果指標を設定。</p> <p>○戦略2の政策として3つの政策を設定。</p> <p>○戦略2政策2に「産業界との連携により、地元で活躍する人材を育成する」旨を記載。</p>
2	<p>○これからも山梨に住みたいと回答した割合が7割以上あるが、その一方で、若者は、山梨に魅力を感じる事ができず、都会に出て行ってしまいう傾向にある。</p> <p>○外の目から見ると山梨には魅力的なところがあるが、それを子どもたちに伝えてきていなかったのではないか。</p> <p>○気候変動による災害で、農作物等への影響が大きくなっており、地球温暖化対策等の教育を行っていくことが大事である。</p> <p>○山梨県の自然のすばらしさ、自然を活かし自然と共生した産業、持続可能な経済について、SDGsに沿って持続可能性を考え、次代を担う子どもたちにその実現のための教育を行うことが大事である。</p>	<p>○取組の方向性や人口の将来展望において「魅力的な仕事を増やす」等と記載。</p> <p>○戦略3政策3に施策「郷土学習の推進」を記載。</p> <p>○戦略4政策3に施策「やまなしクールチョイス県民運動の展開」を記載。</p> <p>○総合計画のSDGsの関係を記載するとともに、計画の推進において政策の位置づけについても整理。</p>
3	<p>○ヨーロッパでも子どもに投資するという考えから、大学の無償化などを行っており、子どもに対する投資というのは非常に重要である。</p> <p>○少子化は、子どもたちに手厚く対応できる好機だと捉え、取り組んでいくべきである。</p>	<p>○取り組みの方向性に「次代を担う若者への大胆な投資」を記載。</p> <p>○戦略2政策1を「一人ひとりの個性を生かした教育の推進」と整理。</p>
4	<p>○日々の教育の中にも、それぞれの目線での「気づき」があることは大切である。</p>	<p>○戦略2政策1に「子どもたちの知的好奇心や感性を育む」旨を記載。</p>

	答申意見案	対応状況
5	<p>○山梨という自然が豊かで住みやすい場所で、ものづくりができる豊かさを伝えるには、子どもたちに、小さいときから山梨の良さ、素晴らしさを伝えていくことが重要である。</p> <p>○産業界では、仕事（技術の継承）と生き方の両立を目指して長期計画で人材育成を進めており、学校教育においても産業界の連携を深め、人材育成の基礎を作る施策を進めるべきである。</p> <p>○若い物創りの技術者のモチベーションを上げるための施策を考えるべきである。</p>	<p>○戦略3政策3に施策「郷土学習の推進」を記載。</p> <p>○戦略2政策2に施策「キャリア教育の充実」「産業人材の育成に向けた高校教育の充実」を記載。</p> <p>○戦略1政策5に施策「産地ブランド形成の推進」に後継者育成について記載。</p>
6	<p>○感動や感謝、明るく前向きにたくましく生きる心、自分を大事にしたり、人に対する思いやりなどを育むなど、基本となる豊かな心と山梨の誇りを幼児期から感じられる教育現場というものが大切である。</p>	<p>○戦略2政策1に「幼児期は成長の土台を作る貴重な時期である」旨を記載。また、戦略3政策3に施策「郷土学習の推進」を記載。</p>
7	<p>○体系的にワインに関する醸造等の現場の技術を学べる体制を構築することにより、新たな人材育成が図られ、ワイン産業の底上げとなるのではないか。</p>	<p>○戦略1政策5の施策「ワイン産業と醸造用ぶどう生産の振興」実施の参考意見として活用。</p>
8	<p>○東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを活用し、山梨県内のまちづくりや観光地を再興するため、指針の改定などにより、県民全体として観光におけるユニバーサルデザインや異文化の理解を深めてはどうか。</p> <p>○世界遺産富士山のみでなく、ユネスコエコパークや日本遺産などを産業振興や教育の質の向上に活用すべきである。</p> <p>○持続可能な世界を実現するため、国連より批准されたSDGsの活用を積極的に実施し、目標とその手法及びその成果を共有すべきである。</p>	<p>○戦略3政策1に誰もが個性や能力を発揮できる環境の整備として考え方を記載。観光については、戦略1政策2の施策「受入環境の整備」など実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略1政策2に施策「地域資源の活用」「南アルプス観光の促進」や戦略4政策3に施策「甲武信ユネスコエコパークの保全・活用の推進」を記載。</p> <p>○総合計画のSDGsの関係を記載するとともに、計画の推進において政策の位置づけについても整理。</p>
9	<p>○産業人材の育成に向けた高校教育の充実、県立大学における県内産業界を支える人材育成、若者層を中心としたUターン就職の促進の3項目が、特に大きな課題だと考える。</p>	<p>○戦略2政策2にそれぞれ施策を記載。</p>

	答申意見案	対応状況
10	<p>○幼稚園、保育園の民間教育ビジネス組織との協働による教育機能の充実を図ることで、預けたいと思う幼稚園や保育園になっていくことが重要である。</p> <p>○多国籍の児童・生徒が在籍し、英語を主たる言語とする教育の充実などを行うべきである。</p> <p>○都市部からの山梨県への留学を積極的に受け入れるための定員制度の設計を行うべきである。</p> <p>○全国の特徴ある初等・中等教育の学校への教員の研修外向プログラムの創設を行うべきである。</p> <p>○海外協定校を設け留学機会の増加を図ることや、海外留学のための奨学金制度の創設を行うべきである。</p> <p>○県内の大学教育の充実のため、産業界や自治体、県外・海外の大学との連携や観光・スポーツ・エンターテインメントビジネスを学ぶ大学専攻等の設立支援、海外教員の採用支援、ビジネスプロジェクトや起業家教育の充実を行うべきである。</p> <p>○スポーツ科学に参入する企業の様々なトレーニングラボを総合球技場の中に設置し、産業育成の場としてはどうか。</p> <p>○文化芸術・スポーツ・観光政策部局を横串・一体化した知事部局の設置を行うべきである。</p>	<p>○戦略2政策1に「幼児期は成長の土台を作る貴重な時期である」旨を記載。</p> <p>○戦略2政策1の施策「グローバル人材の育成」や戦略3政策3の施策「外交人材の受入促進及び外国人との共生推進」実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略2政策1や戦略3政策3に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略2に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略2政策1の施策「グローバル人材の育成」「次代のやまなしを支える人材の育成」等で記載。</p> <p>○戦略1や戦略2に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略1政策1の施策「スポーツによる地域振興」実施の参考意見として活用。</p> <p>○行財政改革の取組1に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p>
11	<p>○人材育成には、人と時間とお金がかかるが、いかに稼ぐかという視点を持つことが重要である。</p> <p>○観光でも富裕層を呼び込むことが重要である。山梨県の観光客の1人あたりの消費額は低く、いかに稼げる人材や産業を作るかが、最終的には豊かさに繋がる。</p>	<p>○取り組みの方向性に、「まず県内経済の活性化」「そして次代を担う若者への大胆な投資」と整理。</p> <p>○戦略1政策2に「観光産業の更なる高付加価値化」について記載。</p>
12	<p>○ボーダーレスな地球社会を、どのように山梨県に結びつけるかを考える必要がある。世界中から人材を呼び寄せる拠点を作ることによってインフラや住環境など、いろいろな物事が繋がってくる。</p>	<p>○取り組みの方向性に、「大きく変化しようとしている社会経済構造に対応しながら、社会全体と個人、双方の価値を高めていく」として、5つの戦略を整理。</p>

	答申意見案	対応状況
13	<p>○リニアの開通により、今後、子育て世代にとって付加価値の高い地域となることが期待できるが、市街地の活気、魅力ある雇用の場、公共交通機関の利便性、文化や教育のレベルや20代の転出が多い点は改善が必要である。</p> <p>○多感な時期にさまざまな人間関係の中で活動することは、主体的・対話的で深い学びや未知の状況にも対応できる総合的な人間性の育成につながる。</p> <p>○「少人数教育の計画的、段階的導入」や「相談支援体制の強化」は、多様な児童生徒への指導にとって有効である。</p> <p>○既存の産学連携研究交流事業等の中に、高等学校も加えることで、高校生の段階から起業への関心を育てることが必要である。</p> <p>○「文化芸術やスポーツの振興による可能性の発揮」には「まちおこし」も関連する。地元の中高生からアイデアを募り、活性化の一翼を担う体験をさせるべきである。</p>	<p>○取り組みの方向性に「暮らしを支える良好な生活環境」「魅力的な仕事」「産業や生活を支える各種インフラの整備」「文化・スポーツの振興」などを記載。</p> <p>○戦略2政策1に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略2政策1の施策として記載。</p> <p>○戦略1政策1の施策「起業（創業）支援の充実・強化」等実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略2政策3に関する今後の施策・事業実施や戦略5政策3の施策「心豊かな青少年の育成」実施の参考意見として活用。</p>
15	<p>○能力の高い外国人をどう受け入れ、地域でどう共生していくかの成否によって、労働力確保の地域格差が広がることから、自治体での取り組みが重要である。</p> <p>○地域文化の素晴らしさを積極的にアピールするとともに、国際交流を推進すべきである。</p> <p>○東海道新幹線が開通した当時の新横浜新駅周辺のようにならないよう、リニアの山梨県駅周辺は、しっかりとしたコンセプトで街づくりを進めることが必要である。</p> <p>○総花的にならないよう、いくつかの目玉施策を考えるべきである。メディアが注目し、山梨の将来構想を県民だけでなく広く国民に伝えてもらうことが効果的である。</p>	<p>○戦略3政策3に施策「外国人材の受入促進及び外国人との共生推進」を記載。</p> <p>○戦略1政策2に施策「魅力が伝わる情報発信」を記載。</p> <p>○戦略1政策1に施策「リニア中央新幹線の開業に向けた取り組みの推進」を記載。</p> <p>○5つの戦略、17の政策に体系化するとともに、行財政改革の取組1に施策「戦略的広報実施に向けた体制の確立・推進」を記載</p>
16	<p>○5つの戦略が相互に絡み合い成果を出していくものと考えられるので、それぞれの施策の全体関連図があると、施策の位置づけ、役割、連携等がわかりやすくなる。</p> <p>○外国人観光客の長期滞留施策により、子供達に観光ガイド体験等異文化と接する機会を創出するなど、もっと他施策との連携を図っても良い。</p> <p>○高等教育について、ビジネスモデルの変化が激しい昨今では、県立大学への経済・経営学部の設置等による経済・経営系の人材育成策も必要である。</p> <p>○格安電力の提供、ネットワーク整備等による企業誘致促進、起業家支援等の施策実行により、優秀な人材の県内居住が実現可能になる。</p> <p>○リニア開通による東京圏、中京圏へのアクセスの利を活かすためにも、働き方改革施策と連携した定住促進策は人材育成につながる。</p>	<p>○戦略の下に政策を設定し、それぞれに関係主体の役割等を記載。</p> <p>○個別の施策・事業実施の際には、多面的な効果を考慮しながら実施しているが、計画としては、政策体系で整理。</p> <p>○戦略2政策2の施策「県立大学における県内産業界を支える人材育成」等実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略1政策1の各施策等の実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略3政策1に施策「働き方改革の推進」を記載。</p>

	答申意見案	対応状況
17	<p>○豊かさというのは、顧客や地域のみなさんに喜んでいたり、仕事の達成感があることも重要であるが、会社として稼いでいくことも重要であり、ビジョンを目指していく中では、両方がとても重要だと認識している。</p> <p>○人材教育において、小さいときから教育により稼ぐ力を養っていくことは重要であり、そういう優秀な子供たち、あるいは外部からの優秀の人たちが豊かに暮らせる場を作ることに取り組んでもらいたい。</p> <p>○どうやったら山梨県の魅力を伝えて、稼いでいけるかというマーケティングを行い、それに合わせた人材教育を行っていくことが必要である。</p>	<p>○基本理念で「豊かさの実感」に向けてという項目で考え方を整理。</p> <p>○戦略2政策2に産業を支える人材の育成・確保を整理。</p> <p>○戦略2政策2に「産業界との連携などにより、地元で活躍する人材の育成を進める」旨について記載。</p>
18	<p>○富士吉田の織物において、若者などの様々な活動が盛んになり、デザインなどの仕事には人が集まっているが、習得に時間のかかる技術が必要な職人は減ってきている。</p> <p>○若者の移住について、そのまま居着いてくれるかという問題があるため、まずは、地元の高中生と産地をつなぐなどといった活動を広げていけたら良いのではないかと。</p>	<p>○戦略1政策5の施策「産地のブランド形成の推進」に後継者育成について記載。</p> <p>○戦略2政策2の施策「キャリア教育の充実」「産業人材の育成に向けた高校教育の充実」など実施の参考意見として活用。</p>
19	<p>○ユニバーサルデザインの普及のため、基本指針を改定し、観光関係でのピクトグラムの統一、高齢者・障がい者にも対応可能なユニバーサルツーリズム、福祉事業と観光事業との連携による新たなビジネスの創造を盛り込むべきである。</p> <p>○山梨大学と山梨県立大学が、教育・研究・社会貢献分野での協力をさらに促進すべきである。</p> <p>○山梨県通訳案内士育成制度を、長期的な視野で、若者の本県での就業支援や、防災減災対策を含めた国際的な人材育成などのためのプラットフォームとしていくことが必要である。</p> <p>○世界遺産富士山のみでなく、ユネスコエコパークや日本遺産などを産業振興や教育の質の向上に活用すべきである。</p> <p>○教育や人材育成の問題を考える時には、公聴会までいなくても、何らかの形で、地元の高中生や大学生たちの声を直接聞くべきである。</p> <p>○持続可能な世界を実現するため、国連より批准されたSDGsの活用を積極的に実施し、目標とその手法及びその成果を共有すべきである。</p> <p>○豊かさが実感できるということは、物理的な面を除き、精神的な面では、そこに住む人達が自信と誇りを持つことだと思う。</p>	<p>○戦略3政策1に誰もが個性や能力を発揮できる環境の整備として考え方を記載。個別の施策については、戦略1の政策1や政策2に記載。</p> <p>○戦略2の政策1や政策2に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略1政策2の施策「受入環境の整備」実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略1政策2に施策「地域資源の活用」「南アルプス観光の促進」や戦略4政策3に施策「甲武信ユネスコエコパークの保全・活用の推進」を記載。</p> <p>○「豊かさの実感」に向けてにおいて、県民意識調査における10代、20代の回答を考慮。計画の推進に「多様な主体と連携・協働するパートナーシップを重視する」旨を記載。</p> <p>○総合計画のSDGsの関係を記載するとともに、計画の推進において政策の位置づけについても整理。</p> <p>○基本理念で「豊かさの実感」に向けてという項目で考え方を整理。</p>

	答申意見案	対応状況
20	<p>○将来にわたり持続可能な地域運営を行うため、「地域おこし協力隊」など山梨県内外から「人」が集まる仕組み・仕掛けの創造・展開を目指すべきである。</p> <p>○確保した次代を託せる人材を核として、各分野における人材育成を行うための教育・研究機関の設立も必要である。</p> <p>○行政の職員として、積極的に海外の人材を登用することも重要である。</p> <p>○教育や街づくり、観光、スポーツなどの分野で国際的な知見を積極的に利用し、従来とは全く異なる視点を政策立案に取り入れて、「新しい山梨」作りを目指すべきである。</p> <p>○少子高齢化社会における共稼ぎ家庭の増加に対応するため、保育園の整備は喫緊の課題であり、特に幼保連携型認定こども園の拡充や株式会社組織の保育園運営会社との連携などの取り組みを積極的に検討していく必要がある。</p> <p>○外国人講師（補助教員）の活用や、外国の文化・生活様式を中心とした初期の国際化教育の充実など、小・中学校における英語教育の環境整備が必要である。</p>	<p>○戦略3政策3で地域へのひとの流れの強化について整理。</p> <p>○戦略2政策2で産業を支える人材の育成・確保について整理。</p> <p>○行財政改革等に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略2や戦略1に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略3政策2に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略2政策1に施策「グローバル人材の育成」を記載。</p>
21	<p>○県内の求人はサービス業が多く、技術職等の受け入れ先が少ないことから、「産業を支える人材の育成・確保」のためには、企業誘致・県内企業の発展が不可欠である。</p> <p>○県内の大学では官・民・学が連携して面白い研究も多々行われており、リニアをはじめ県外との交通網の整備も進む中、企業誘致に大きな可能性を秘めている。</p> <p>○最近の共働き世帯を見ていると、育児・介護は男性にも関わってくる問題だと思われる。</p> <p>○病時・病後時保育を含めた保育施設の整備を進めるべきである。</p>	<p>○戦略1政策1に施策「企業立地の促進」を記載。</p> <p>○戦略1政策1の施策「企業立地の促進」「リニア中央新幹線の開業に向けた取り組みの推進」実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略3政策1に女性の活躍の促進について記載。</p> <p>○戦略3政策2に施策「多様な保育ニーズに対応できる環境の整備」を記載。</p>
22	<p>○山梨県への観光客の消費額の減少を鑑みると、山梨に行ったら絶対これは買わなくてはいけないというような山梨県ブランドを確立することが必要である。</p> <p>○しっかりしたまちづくりを行い、働く人、起業する人を増やしていくべきである。</p>	<p>○戦略1政策2に「山梨の強みを生かした地域資源の磨き上げ」と記載。</p> <p>○取り組みの方向性に「魅力的な仕事を増やす」「暮らしを支える良好な生活環境やコミュニティづくり」を図る旨を記載。</p>
22	<p>○ベースとなるのは人口だと思われるが、どの年齢層を対象にして事業を行うかという想定があれば、もっとわかりやすいものになるかと思う。</p> <p>○総合計画だけでなく、この周辺にも様々な計画等があるかと思うが、体系図のようなものを作り、全体をこのように作り上げていくというイメージがあれば、もっとわかりやすいと思う。</p>	<p>○人口の将来展望において、若年女性を中心とした取り組みの考え方を整理。</p> <p>○アクションプランにおいて、関係する主な部門計画を戦略ごとに整理。</p>

	答申意見案	対応状況
23	<p>○豊かさを実感するためには、自尊感情、自己受容感、自己効力感、自己信頼感、自己決定感、自己有用感からなる自己肯定感が必要である。</p> <p>○きめ細やかな質の高い教育を実現するためには、少人数学級だけでなく、教員の資質の向上が急務であり、教員採用試験にまで及ぶ改革が必要である。</p> <p>○質の高い教育の根本は、一人ひとりのかけがえのない命を大切にす教育である。</p> <p>○幼少期からの発育段階に応じた計画的実践的な安全基礎体力づくりを行う必要がある。</p> <p>○審議委員となって以来、県庁内での課をまたいでの横断的な連携を一貫して提言してきたが、未だ縦割りの壁が厚いと感じている。</p> <p>○心と体の健康は生涯にわたるものなので、幼児教育だけにとどまらず、放課後児童クラブ、児童館、放課後子供教室、総合型地域スポーツセンター等々までに拡大していくことを考えるべきである。</p>	<p>○基本理念で「豊かさの実感」に向けてという項目で考え方を整理。</p> <p>○戦略2政策1に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略2政策1に関する今後の施策・事業実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略5政策3の施策「安全・安心なまちづくりの推進」実施の参考意見として活用。</p> <p>○行財政改革の実施の参考意見として活用。</p> <p>○戦略2政策1や戦略3政策2の施策実施の参考意見として活用。</p>